

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 相模原市立旭小学校

① 学習指導案

プログラム	No.11 「地域景観プランナーになろう」	
単元名 (全70時間)	橋本の魅力を創ろう～ 「江戸時代にタイムスリップ 『橋本宿』を求めて～」	
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちには地域課題や活性化にむけた様々なとりくみがあり、多くの人々が思いや願いをもちながらそれらに携わっていることに気づく。</li> <li>・今、ある生活や暮らしは、過去の歴史の上で成り立っており、それが未来へとつながっていることに気付く。</li> <li>・情報収集能力を身に付け、情報を効果的に伝えていく方法を考える。</li> </ul>	
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 橋本の魅力を探る。自分たちが住んでいるまちがかつて「橋本宿」という宿場町であり、そのことを知らない人が多いことを知る。</li> <li>2. ゲストティーチャーによる出前授業、地域の方への取材等を通して「橋本宿」についての資料を集める。</li> <li>3. 調べたことをどのような表現で魅力として伝えていくか思考ツールを活用して考える。必要な材料や時間、費用、作る工程など専門家に聞きながら、キャンバスやマップとして作成する。</li> <li>4. まちの魅力について多くの人に伝えるために、地域の人に協力をもらいながら仕上がったキャンバスとマップを通して伝える。</li> </ol>	
参考資料 準備品 実施場所等	<b>【準備品】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット PC</li> <li>・キャンバス</li> <li>・地域探索用地図</li> <li>・地域歴史カルタ</li> <li>・アクリル絵の具</li> <li>・郷土史</li> </ul>	<b>【場所】</b> 教室・学校内・地域 公民館・図書館等

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
20	○橋本の魅力を探り、実地踏査やゲストティーチャーによる出前授業を行う。  ○調べたことを資料としてまとめ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の時の学習をもとにさらに調べたいことを話し合う。</li> <li>・橋本の歴史に詳しい人に出前授業の依頼をする。</li> <li>・地域の人が作成した「郷土カルタ」を用意し、遊びを通して歴史に興味をもたせる。</li> <li>・調べてきたことを模造紙にまとめさせる。</li> </ul>	活動の意欲（観察） 課題設定能力（観察・ノート）

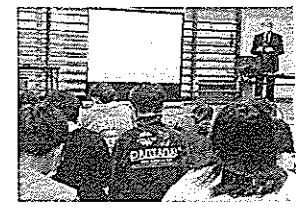

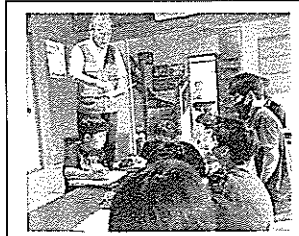
30	○集めた資料をもとに、「待ちの魅力」をキャンバスやマップで表現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた資料をもとに、どのような形で伝えることが効果的なのか思考ツールを活用しながら表現方法を考えさせる。</li> <li>・必要な材料・時間・作る工程等助言を頂きながら作成していく。</li> </ul>	表現力（絵・マップ） 課題追求（観察・ノート）
20	○仕上がったキャンバスやマップを通して、「まちの魅力」を地域の方へ伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの魅力を伝えるために仕上がったキャンバスやマップをどのように活用していくことがよいか考えさせる。</li> </ul>	課題設定能力（観察・ノート） 表現力（チラシ・ノート）

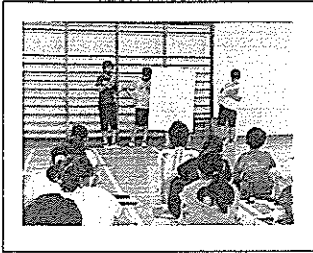
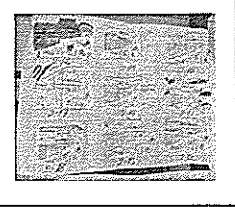
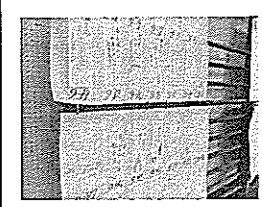

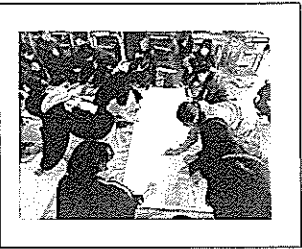
<留意点>

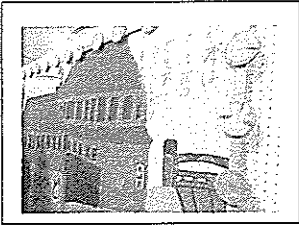
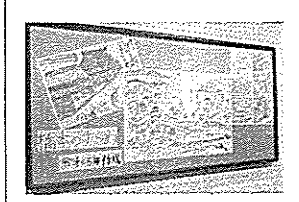
- ・まち歩きの際の交通安全を確保する。特に、観察中では、児童は周囲への注意が疎かになりがちになるため、安全には十分に配慮する。
- ・昨年度からの学習を活かしながらまちの人の思いや願いを大切に学習をすすめる。

② 事業実施報告書詳細

学校名 相模原市立旭小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
20	学校  地域 駅 商業施設 公民館 図書館 区役所	<p>○昨年度学習したことをふりかえり、自分たちが住んでいるまちの歴史について学ぶ。</p> <p>○自分たちの住むまちがかつて宿場町であったことを知り、資料を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人に街頭インタビューをする</li> <li>・ゲストティーチャーによる出前授業を行う</li> <li>・歴史書等、資料を読み取る</li> <li>・「郷土カルタ」で遊ぶ</li> </ul>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住むまちは、かつて「橋本宿」と言われる宿場町であり歴史があるまちであることを知り、まちの魅力の一つとして探ろうとする。</li> <li>・「宿場町とは何か」「東海道五十三次」や「大山詣」につなげながら、調べる。</li> <li>・「橋本宿」があまり知られていないことやそれが分かる資料が十分に残っていないことを知る。</li> <li>・歴史を探索する「ウォークラリー」が開催されていることを知り、関心をもつ。自分たちも『おさんぽマップ』を作ってみたいと考える。</li> <li>・「ここ知っている」「こ</li> </ul>

		<p>○調べたことを共有し、課題を設定する。</p>		<p>んなことがあったんだ」と郷土カルタを通してまちの魅力を再確認したり、新たな発見を感じたりしながら、まちへの愛着をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事や歴史を大切に人、地域活性化にむけて取り組んでいる人たちがいることを知り、自分たちができることを考える。</li> </ul>	
10	地域学校	<p>○まちの歴史を形に残す計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のまつりのイベントに参加し、5年生の時に作った「橋本の魅力のうた」を披露する。「橋本宿」についても紹介する。</li> <li>・どのような形で魅力を伝えていくことが効果的か思考ツールを使って考える</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの魅力が多くの人に伝わり、ずっと残る物を条件として考える。作成期間、予算等も含めて条件に合う形を探る。</li> </ul>
20	学校	<p>○キャンパスやマップで表すために原画・短歌を考える。</p> <p>○絵とマップの作成をする。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「橋本宿」だと分かる絵にするために何を描けば良いのか思考ツールで考える。</li> <li>・自分たちや地域の人の思いが伝わる絵とマップにしてい</li> <li>く。</li> <li>・完成度の高いものにしていくため、話し合いを重ねながらブラッシュアップしていく。</li> </ul>

20	公民館 図書館 区役所 商業施設 等	<p>○完成した絵とマップをどこに展示するか考え、依頼する。</p> <p>○学習のまとめ・ふりかえりをする。</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人が集う場所がどこなのかを知る。</li> <li>・まちを大切にしている人、自分たちの願いや思いと同じ人、自分たちに協力してくれる人など地域とのつながりを感じる。</li> </ul>
----	--------------------------------	---	---	--

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年計画で学習をすすめた。5年生の時は「今のまち」「未来のまち」6年生では「昔のまち」に焦点をあて、子どもたちは時代が変わっても、その時代の魅力があることを学んだ。また、まちを大切に守っている人々の思いに触れながら、地域の一員として自分たちができることは何かを考えさせてきた。</li> <li>・学習をすすめるにあたり、子どもたちが「この人ならまちのことをなんでも知っているだろう」と思う人を『まちづくりマイスター』として日頃から相談してきた。</li> <li>・子どもたち一人ひとりに『まちづくりプランナー』であることを意識させてきた。</li> <li>・子どもたちの思いや願いに寄り添ってくれる地域の方（公民館・図書館・商業施設など）や保護者の方々のご協力で十分な教育活動をすすめることができた。</li> </ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿場町に焦点をあてながら課題設定を行ったので、新しいことに興味をもちやすい子どもたちに歴史あるまちなみの良さや趣をどのように感じさせていくか、また社会科で学習していない歴史内容についてどのように理解させたり関心をもたせたりしていくか、社会科の学習と関連付けて考えさせた。</li> <li>・実地調査にあたり、熱中症対策や保護者ボランティアとの日程調整</li> </ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは調査活動や出前授業を通して、「もっとまちについて知りたい」「〇〇さんに取材したい」「まちの人の聞きたい」と感じていた。</li> <li>・絵やマップの製作を取り入れたことで、はじめはまちの歴史に興味をもてなかった子ども、活動をする中で、まちに対する理解を深めた。また、子どもたちは絵やマップを仕上げ、自分たちが作ったものを目にして喜んでいるまちの人の姿を感じたとき、子どもたちのまちに対する愛着が一層深まった。</li> </ul>

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・今までは地域の様々な行事に「参加」する形であったが、まちの魅力を伝える『まちづくりプランナー』として子どもたちに意識させることで、教員自身も「まちを創っていく一員」という見方に変わった。
- ・まちにはたくさんの学習素材があることに気づいた。
- ・子どもたちの思いや願いに協力してくださる地域の方のあたたかさを感じながら、地域の一員として子どもと学習をつくっていくことを楽しんだ。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- ・子どもたちが学習したことをどのように継承していくかが課題である。